

# 湯田ダムだより

平成26年3月  
北上川ダム統管理事務所  
湯田ダム管理支所

湯田ダムは今年50周年を迎えます!

## “雪あかり2014inにしわが” が開催されました



22回目となる今回は過去最高の72団体が参加し、約1万8000本のろうソクの灯火が西和賀町の夜を飾りました。湯田ダム管理支所も毎年参加しています。町内のあちこちで趣向を凝らした雪あかりがあり、当日は雪が降ってしまいましたが、雪がしんと降る中のろうソクの灯りはとても幻想的でした。



## 湯田ダム管理状況の紹介

先月号の巡視に引き続き【堤体管理】の様子を紹介



### part2

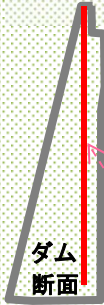


えっ! ダムが動いているのっ!?  
まさかっ! ダムから水が漏れているのっ!?

実はそうなんです、湯田ダムの場合ですが・・・  
・貯水位や気温の変化等によって、少し動いています。上下流の動き幅は年間2.5cm程度です。  
・現在は地下水等も含め、毎分約15ℓの水が漏水しています。(建設当時は毎分約60ℓでした!!)



### 【変位置観測 (プラムライン)】



細いワイヤーの動きで計測 (プラムライン)

湯田ダムはコンクリートで作られております。コンクリートは湿度や温度の変化により、伸縮します。また、貯水位により水圧の影響も受けますので、季節によって、ダムは少し動いています。

### 【漏水観測】



ダムの内部に設置した貯水や地下水(漏水)の観測孔にて、その流出量を調べます。また水の色(濁っていないか)も確認します。調査は降雨状況、貯水位、気温等も含め、総合的に正しい判断します。

「動いている」「漏れている」というと、ダムは大丈夫なのかな?と不安になるかもしれませんが、この数値を日々観測し、データを整理することが重要です。そこから、何に起因する動きなのか等を分析し、評価することにより、ダムの安全性を判断する事ができます。

# ～湯田ダム50年のあゆみ紹介～



## 湯田ダム建設による水没移転

湯田ダムの建設により665haが水没することとなり、役場、学校、警察、郵便局など多くの公共施設が移転し、約3,000人の人々が親しんだ場所を離れざるを得ませんでした。

水没規模は当時、我が国最大規模といわれれおり、湯田村民の理解と協力が、あったからこそ、今私たちは洪水の被害等から守られ、安心した毎日を過ごすことができます。

### 水没規模

湯田村の 人口25% 宅地29% 農地16%  
(特に湯田村中心地の川尻地区の大部分が水没)

移転家屋数	大荒沢	124戸	} 一般家屋 584戸
	大石	170戸	
	川尻	282戸	
	湯本	2戸	
	官舎・社宅	38戸 (鉱山12戸 国鉄12戸 営林署9戸 他5戸)	
	合計	616戸	



《新川尻小学校 S38年10月撮影》



《新湯田村役場 S38年10月撮影》

## 錦秋湖湯田ダム50周年

### ロゴマークが完成しました

3月3日(月)、「錦秋湖及び和賀川活用に関する検討委員会 幹事会」が開催され、50周年のロゴマークが決定しました。ロゴマークは地元の西和賀高校に依頼し、1・2年生より1点以上の案を募り、それを元に同校美術部で作成しました。

このマークは「錦秋湖に漂う紅葉」をイメージして作られました。

今後、委員会及び湯田ダムとして、このロゴマークを利用して50周年を盛り上げていきたいと思ひます。



### 編集後記

3/6、外は猛吹雪で気温は-5℃。 そんな中、来年の雪あかりはどんな風にしようかな～ともう考えています。(佐)



### 発行

北上川ダム統合管理事務所 湯田ダム管理支所  
〒024-0341 和賀郡西和賀町杉名畑44地割162-15  
TEL: 0197-74-2011 FAX: 0197-74-2013  
ホームページ: <http://www.thr.mlit.go.jp/kitakato/>  
《2014》湯田ダム50周年